

同志社大学

キリスト教文化センター

2023年度

オープン・プログラム



案内

「オープン・プログラム」は、同志社大学キリスト教文化センターが京田辺・今出川両キャンパスにおいて提供している手話、点訳などの講座です。

各講座は、専門分野の講師陣による、自由で明るい雰囲気のある講座として親しまれており、他大学生、一般のみなさまにも広く受講していただけます。

2023年度の講座については、見開き内部でご案内いたします。

目 次

時間割表	1
------	---

京田辺校地 開講

手話入門 (三ツ谷 直子)	2
点訳入門編 (今津 玲子)	3
パイプオルガン講座 (加藤 真子) ※本学在学生のみのみ	4

今出川校地 開講

はじめての手話 入門 (桂 千草)	5
手話で楽しくコミュニケーション 応用 (桂 千草)	6
点訳入門編 (古谷 美千子)	7
パイプオルガン講座 (中山 幾美子、加藤 真子) ※本学在学生のみのみ	8
弱さの人間学ー「弱さ」の方から「わたし」を問うー (朴 シネ)	9

オンライン講座

点字を知ろう (今津 玲子)	11
----------------	----

受講のご案内	12
--------	----

交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う講座の実施について	13
---------------------------------	----

※公開講演会シリーズについては、詳細が決まり次第、キリスト教文化センターオリジナルサイト等でお知らせいたします。

※都合により、講座形態をオンライン講座とする、または中止にするなど、変更が伴う場合があります。

※新型コロナウイルス感染症に係る本学の対応については、大学公式ホームページで最新情報を確認し、感染症対策にご協力ください。



2023年度 時間割表

春学期： 5月 8日(月)～ 7月28日(金)

秋学期： 10月 2日(月)～ 12月22日(金)

京田辺校地

曜日 講時	月	火	水	木	金	土
1 9:00～10:30	パイプオルガン講座 (加藤真子)					
2 10:45～12:15	パイプオルガン講座 (加藤真子)	手話入門 (三ツ谷直子)	点訳入門編 (今津玲子)			
昼休み 12:15～13:10		チャペル・アワー 12:35～13:00	チャペル・アワー 12:35～13:00		チャペル・アワー 12:35～13:00	
3 13:10～14:40						

今出川校地

曜日 講時	月	火	水	木	金	土
1 9:00～10:30				パイプオルガン講座 (加藤真子)		
2 10:45～12:15		点訳入門編 (古谷美千子) 弱さの人間学 -「弱さ」の方から「わたし」を問う- (朴シネ)	チャペル・アワー 10:45～11:30	パイプオルガン講座 (加藤真子)		
昼休み 12:15～13:10					チャペル・アワー 12:35～13:00	
3 13:10～14:40	はじめての手話 入門 (桂千草)		パイプオルガン講座 (中山幾美子)			
4 14:55～16:25	手話で楽しく コミュニケーション 応用 (桂千草)					
5 16:40～18:10		チャペル・アワー 17:30～18:10				

オンライン講座

木曜日 2講時
10:45～12:15

○ 点字を知ろう (今津玲子)

- 講座は、**年間を通じての受講**となります。
- 「○」は春学期のみの開講講座です。
- 春学期に申し込んだ講座について、秋学期に受講手続きを再度行う必要はありません。

手話入門

京田辺

通年・火曜2講時(10:45~12:15)
聴覚障害者情報提供施設元職員 三ツ谷 直子

手話は目で見ることばです。国連の障害者権利条約では「手話は言語」と明記され、国内でも多くの自治体が「手話言語条例」を策定し、手話は広まっています。

講座は聴覚障がいのある講師が担当します。手話の魅力に触れ、手話でのコミュニケーションを楽しみます。また、聴覚障がい者の暮らしや歴史について学ぶことで、聴覚障がいの理解、さらには障がいのある全ての方々との共生社会への関心につなげていくのが目的です。

■募集人数

20名

※他大学学生・市民は10名まで

■テキストなど

今すぐ始める手話テキスト『聴さんと学ぼう!』(一般財団法人 全日本ろうあ連盟)
テキスト代のみ

■必要な費用

※フェイスシールドが必要ですので、各自ご準備ください。

■注意事項

欠員が生じた場合は、秋学期からの受講も可能です。

受講者の人数、経験などによって、学習の内容や順序は変わることがあります。

遅刻・欠席の場合は、必ずキリスト教文化センター事務室へ連絡してください。



回		講座内容	
春学期	1	ガイダンス 手話を学ぶ皆さんに伝えたいこと	自己紹介してみよう
	2	聞こえの仕組みと聴覚障がいについて	手話で自己紹介 名前・家族
	3	聴覚障がい者のコミュニケーション	挨拶してみよう
	4	盲ろう重複障がい者のコミュニケーション	手話がわからなかったとき
	5	ろう重複障がい者のコミュニケーション	数字、時間
	6	聴覚障がい者と教育	趣味
	7	京都におけるろうあ運動の歴史	行きたい場所
	8	ゲストスピーカーと手話での会話を楽しもう	
	9	ゲストスピーカーとの会話の振り返り	手話での発表準備
	10	まとめ、手話での発表	
秋学期	11	夏休みの生活	復習
	12	聴覚障がい者のくらし 防災	病気やけがで困ったとき
	13	聴覚障がい者のくらし 医療	お天気、乗り物
	14	聴覚障がい者のくらし 高齢聴覚障がい者	買い物、お金
	15	聴覚障がい者のくらし コミュニケーション支援	ろう者の生活
	16	聴覚障がい者のくらし 障害者差別解消法	災害
	17	聴覚障がい者と社会参加・手話サークル	まとめ
	18	ゲストスピーカーと手話での会話を楽しもう	
	19	ゲストスピーカーとの会話の振り返り	手話での発表準備
	20	まとめ、手話での発表	

点 訳 入 門 編

京田辺

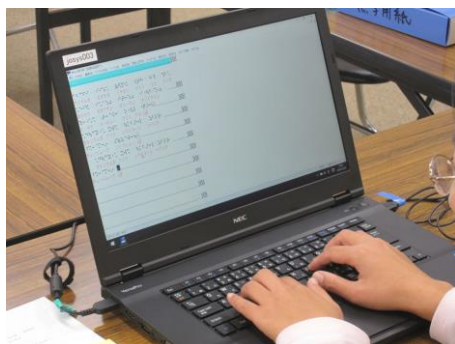
通年・水曜2講時(10:45~12:15)

日本盲人社会福祉施設協議会認定点字指導員 今津 玲子

視覚障がい者によって使われる「点字」は、6点の組み合わせで かな・数字・アルファベットすべてを表すことができます。その点字の基本について理解し、点字で文章を書くための「分かち書き」のルールを学習していきます。さらに、絵本の点訳やパソコン点訳なども取り入れ、より実践的な点訳について体験していただこうと思います。

また、視覚障がい者を取り巻く状況や接し方などの情報についても、講義中に紹介していきます。

- 募集人数 10 名
- テキストなど 『初めての点訳 第3版』(全国視覚障害者情報提供施設協会 編集・発行)
- 必要な費用 テキスト代(770円)のみ
- 注意事項 点字器は貸出します。
遅刻、欠席の場合は、必ず連絡するようにしてください。



回		講座内容
春学期	1	ガイダンス、視覚障がい者の状況、点字の概要
	2	視覚障がい者への接し方、点字の読み方・書き方
	3	語の書き表し方 1 基本的なかなづかい
	4	語の書き表し方 2 間違いやすいかなづかい
	5	語の書き表し方 3 外来語・外国語の書き方
	6	語の書き表し方 4 数字(1)
	7	語の書き表し方 5 数字(2)・アルファベット
	8	分かち書き 1 文節分かち書き
	9	分かち書き 2 間違いやすい分かち書き
	10	分かち書き 3 複合名詞(1)
	11	春学期の復習
秋学期	12	分かち書き 4 複合名詞(2)
	13	分かち書き 5 複合動詞・複合形容詞
	14	分かち書き 6 固有名詞
	15	記号類 1 句読符
	16	記号類 2 囲みの記号・線類
	17	書き方の実際
	18	全体の復習、点訳絵本製作
	19~22	点訳絵本製作、パソコン点訳

パイプオルガン講座

京田辺

通年・月曜1・2講時(10:00~12:15)
同志社大学専従オルガニスト 加藤 真子

本講座は、主に礼拝での奏樂ができるようになることを目的として開講されています。

初心者から経験者まで、各々のレベルに応じてオルガン奏法(手鍵盤だけでなく足鍵盤も使用)を学びます。礼拝に必要な讃美歌や奏楽曲等、バッハをはじめさまざまな時代の曲を演奏してもらいたいと考えています。講座終了時には、練習の成果を聴きあう発表会を行います。また充分な力をつけた方には、学内のチャペル・アワー等で実際に奏樂を担当していただく予定です。

■募集人数

4名【月1:1名、月2:3名】(同志社大学在學生に限ります)

※鍵盤楽器(バッハ・インベンション程度)がある程度弾ける方。

※原則として、通年で講座に参加できる方。

※応募者多数の場合は、抽選となります。

■テキストなど

なし(使用する場合は、後日お知らせします)

■必要な費用

テキスト代(テキストを使用した場合のみ)

■注意事項

オルガン演奏のためのシューズを各自用意すること(後日相談します)。

やむを得ず、レッスンおよび練習を遅刻・欠席される際は、事前にキリスト教文化センター事務室まで連絡を入れること。



回		講座内容
春学期	1	オリエンテーション、パイプオルガンのしくみ
	2~3	基礎練習(手鍵盤)
	4~5	基礎練習(足鍵盤)
	6~9	楽曲練習
	10	春学期のまとめ
秋学期	11	礼拝におけるオルガンの役割、奏樂について
	12~13	讃美歌奏法
	14~15	自由な楽曲
	16~17	教会歴による奏楽曲
	18~19	発表会のオルガン曲
	20	秋学期のまとめ(発表会)

はじめての手話 入門

今出川

通年・月曜3講時(13:10~14:40)
手話通訳士・京都府手話通訳者 桂 千草

手話は「目で見ることば」です。

手の動きだけではなく、顔の表情など身体全体で表わす「ろう者の大切なコミュニケーション手段」です。手話で簡単な日常会話や自己紹介や、手話の言語的特徴を学びます。そして、外見からはその障害が分かりにくい聴覚障がいを理解し、相手を尊重し合理的な配慮が出来るようになることを目指します。

手話を通し、日頃のコミュニケーションをもっと豊かにできるよう、楽しく学びましょう。

■募集人数

初めて手話を学ぶ方 20名

※他大学学生・市民は、10名まで

■テキストなど

今すぐはじめる手話テキスト『聴さんと学ぼう！』(一般財団法人 全日本ろうあ連盟)

■必要な費用

テキスト代のみ

■注意事項

欠員が生じた場合、手話経験者であれば秋学期からの受講も可能です。

遅刻、欠席については、できるだけキリスト教文化センター事務室に連絡してください。



回	講座内容	
春学期	1	ガイダンス、手話概論 あいさつ
	2	聴覚障がい概論 名前の表現、あいさつ、同志社大学、指文字
	3	耳の役割と聞こえのしくみ みんなの名前の表現、指文字、
	4	聴覚障がい者のコミュニケーション 手話で家族の表現、指文字
	5	聴覚障がい者と教育 手話で趣味の表現 指文字
	6	聴覚障がい者と情報 手話で数字の表現 指文字
	7	ゲストスピーチ きこえないってどんなこと? (自己紹介をしてみましょう)
	8	聴覚障がい者と福祉制度 手話で仕事の表現
	9	手話サークル 手話で自己紹介(挨拶、名前、趣味、誕生日、仕事)
	10	まとめ 手話で自己紹介をしてみよう
秋学期	11	復習をしよう 手話で夏休みのできごとを話してみよう
	12	手話の歴史 手話で住所や出身地の表現
	13	聴覚障がい者と医療 手話で医療の表現(病気、ケガ、救急)
	14	聴覚障がい者と合理的配慮 手話で1日の過ごし方などを表現
	15	手話の言語的特徴 手話で1年・季節について表現
	16	盲ろう者ってどんな障害? 困難なこと・コミュニケーション手段
	17	ろう運動の歴史 手話での疑問詞(いつ、どこ、なぜ、いくつ)
	18	ゲストスピーチ きこえないってどんなこと? (話してみよう)
	19	自己紹介(身近な話、生活の話題)の練習
	20	まとめ 手話で身近な話題を話してみよう

手話で楽しくコミュニケーション 応用

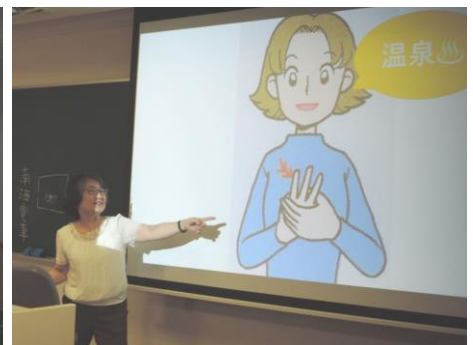
今出川

通年・月曜4講時(14:55~16:25)
手話通訳士・京都府手話通訳者 桂 千草

手話は、音声言語と異なる独自の文法を持つ言語です。障害者基本法で手話が言語と明記され、国連の障害者権利条約を批准し、各地の自治体で手話言語条例が制定され、手話は広がっています。

入門で学んだ基礎的な知識に加え、聴覚障がい者が社会生活の中でコミュニケーションや音声情報取得が困難であることを理解し、合理的配慮ができ、手話で日常会話がもっと豊かにできるよう、楽しく学びましょう。

- 募集人数 手話であいさつ・自己紹介や簡単な会話ができる方【約1年程度の手話学習者】
20名
※他大学学生・市民は10名まで
- テキストなど なし
- 必要な費用 なし
- 注意事項 欠員が生じた場合、1年以上の経験者であれば秋学期からの受講が可能です。
「入門」と「応用」の両方を同じ年度に受講することはできません。
欠席については、できるだけキリスト教文化センター事務室に連絡してください。



回	講座内容	
春学期	1	ガイダンス、手話概論 手話であいさつ 自己紹介
	2	聴覚障がい概論 手話で話してみよう（動作を工夫し表現）
	3	ことばの発達ときこえ 手話で話してみよう（意味をつかみ表現）
	4	聴覚障がい者のコミュニケーション 手話で話してみよう（意味をつかみ表現）
	5	聴覚障がい者と教育 手話で話してみよう（位置、方向の工夫）
	6	聴覚障がい者と情報 手話で話してみよう（位置、方向の工夫）
	7	ゲストスピーチ きこえないってどんなこと？（手話で質問しましょう）
	8	聴覚障がい者と福祉制度 手話で話してみよう（表情の工夫）
	9	手話サークル 手話で話してみよう（強弱、速度の工夫）
	10	まとめ
秋学期	11	復習をしよう 手話で夏休みのできごとを話してみよう
	12	手話の歴史 話で話してみよう（位置・方向の工夫）
	13	手話の言語的特徴 手話で話してみよう（指さしを使い表現）
	14	聴覚障がい者と合理的配慮 手話で話してみよう（体の向きをかえる）
	15	手話の言語的特徴 手話で話してみよう（空間を活用）
	16	盲ろう者のコミュニケーションと移動手段 手書き文字 触手話を経験しよう
	17	ろう運動の歴史 手話で話してみよう（指さしや視線）
	18	ゲストスピーチ きこえないってどんなこと？（一緒に考えてみましょう）
	19	課題発表の準備
	20	課題発表

点 訳 入 門 編

今出川

通年・火曜2講時(10:45~12:15)

日本盲人社会福祉施設協議会 認定点字指導員 古谷 美千子

視覚障がい者がおもに指を使って読み書きする文字を「点字」といい、文や資料を点字化することを「点訳」といいます。6つの点の組み合わせで、かな・数字・アルファベット等を表す点字の基礎やルールを学習します。

その後、修得した点字を生かして、実際に絵本を点訳します。それと同時に、視覚障がい者をとりまく読書環境を知り、手引きの仕方を学びます。

■募集人数

10名

■テキストなど

視覚障害者介護技術シリーズ1『初めての点訳 第3版』
(全国視覚障害者情報提供施設協会 編集・発行)

■必要な費用

テキスト代(770円)のみ

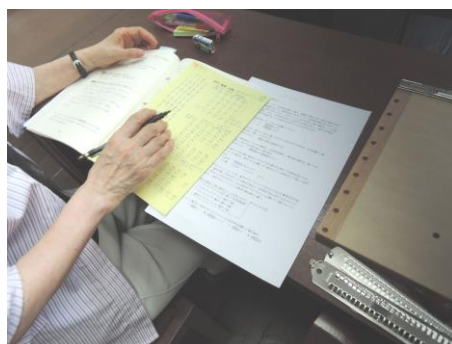
■注意事項

点字器は貸出します。

春学期開講後からの受講はできません。

2回以上、無断欠席や遅刻のある場合、受講を中止していただくことがあります。

遅刻、欠席の場合は、必ず連絡するようにしてください。



回	講座内容
春学期	1 ガイダンス・視覚障がい者の状況
	2 視覚障がい者への接し方・点字の概要
	3 語の書き表し方 1 基本的なかなづかい
	4 語の書き表し方 2 間違いやすいかなづかい
	5 語の書き表し方 3 外来語・外国語
	6 語の書き表し方 4 数字(1)
	7 語の書き表し方 5 数字(2)
	8 語の書き表し方 6 アルファベット
	9 分かち書き 1 文節分かち書き
	10 分かち書き 2 間違いやすい分かち書き
	11 分かち書き練習
秋学期	12 分かち書き 3 複合名詞(1)
	13 分かち書き 4 複合名詞(2)
	14 分かち書き 5 複合動詞・複合形容詞
	15 分かち書き 6 固有名詞
	16 記号類 1 句読符
	17 記号類 2 囲みの記号・線類
	18 書き方の実際
	19~22 点訳絵本製作

パイプオルガン講座

今出川

通年・水曜3講時(13:10～14:40)

オルガニスト・同志社女子大学嘱託講師

中山 幾美子

通年・木曜1、2講時(9:00～10:30、10:45～12:15)

同志社大学専従オルガニスト

加藤 真子

本講座は、主に礼拝での奏樂ができるようになることを目的として開講されています。初心者から経験者まで、各々のレベルに応じてオルガン奏法（手鍵盤だけでなく足鍵盤も使用）を学びます。礼拝に必要な讃美歌や前奏曲等、バッハを初めさまざまな時代のオルガン曲を演奏してもらいたいと考えています。講座終了時には、練習の成果を聴きあう発表会を行います。また充分な力をつけた方には、学内のチャペル・アワー等で実際に奏樂を担当して頂く予定です。

■募集人数

6名【水2:2名、木1:1名、木2:3名】（同志社大学在學生に限ります）

※水曜か木曜、どちらかのクラスを選択し、通年受講。基本的に個人レッスンを
行います。

※原則として、通年で講座に参加できる方。

※鍵盤楽器（バッハ・インベンション程度）がある程度弾ける方。

※応募者多数の場合は抽選となります。

※レッスン時間とは別に練習時間の設定で、次の時間帯が可能な方。

・月3・4講時（13:30～16:30）もしくは 金曜日3・4講時（14:00～16:30）

■テキストなど

なし（使用する場合は後日お知らせします）

■必要な費用

テキスト代（テキストを使用した場合のみ）

■注意事項

オルガン演奏のためのシューズを各自用意すること。（後日相談します）

遅刻、欠席の場合は必ず連絡するようにしてください。



回		講座内容
春学期	1	オリエンテーション、パイプオルガンのしくみ
	2～3	基礎練習（手鍵盤）
	4～5	基礎練習（足鍵盤）
	6～9	楽曲練習
	10	春学期のまとめ
秋学期	11	礼拝におけるオルガンの役割、奏樂について
	12～13	讃美歌奏法
	14～15	自由な楽曲
	16～17	教会歴による奏楽曲
	18～19	発表会のオルガン曲
	20	秋学期のまとめ（発表会）

弱さの人間学 —「弱さ」の方から「わたし」を問う—

今出川

通年・火曜2講時(10:45~12:15)

KMC 派遣宣教師 バク 朴 シネ

私たちは弱肉強食の社会の中で生き残るために、必死に自分の弱さを押し込み、ひたすら強くあろうと努力しつづけています。しかし、弱さは強さの対極にある克服すべき単なる「強さの欠如」というよりも、むしろ死を運命付けられている存在としての人間すべてに通じる普遍性であります。このような認識からこの講座では、自分の弱さを欠如としてとらえるのではなく、それをまず普通と考え、そういう「弱さ」の方から自分のあり方を再考します。

<春学期>「弱さを生きる」

自分の弱さを全て否定するのではなく、「弱さを生きる」ことの意味や価値を様々な角度から問い、その中に光を見出していきます。

<秋学期>「死を生きる」

死と関わる様々なテーマを取り上げて、死への存在としての「わたし」をいかに生きるかを共に考えます。

■募集人数

20名

■テキストなど

『死の力 —死と向き合う教育—』(朴シネ著、晃洋書房、2015 年)

そのほか、必要に応じて適宜紹介する。

■必要な費用

特になし

■注意事項

この講座は通年で開講されますが、春学期のみ、または秋学期のみの受講も可能です。欠席についてはできるだけ、連絡してください。



回	講座内容(受講者の人数、経験などによって、授業の内容や順序は変わることがあります。)
1	自分の弱さと向き合う旅への招待
2	自分の弱さへのまなざしについての一考察 —「私とは何か」という問いへの答えとしての絵画「自画像」を手掛かりとして—
3	弱さについての人間学的考察① —弱さをもつ英雄の物語を手掛かりとして—
4	弱さについての人間学的考察② —支える支えられる関係の反転について—
5	外向型人間 vs 内向型人間 —Susan Cain『Quiet: The Power of Introverts in a World That Can't Stop Talking』を手掛かりとして—
6	怠惰はなぜ批判されるのか —Bertrand Russell『In Praise of Idleness』、Ulrich Schnabel『何もしない時間のパワー』、丸岡いずみ『休むことも生きること』を手掛かりとして—
7	善と悪の間を生きる存在としての私 —吉野弘の詩における人間の不完全さ(=弱さ)へのまなざしを手掛かりとして—
8	「幼」と「老」の間を生きる存在としての私 —「大人」の世界の対極としての「幼」と「老」を生きることの人間学的意味—
9	病む存在としての私 —病の経験から生まれるもの—
10	弱さを生きる —映画『怪物はささやく』を手掛かりとして考える—

春学期「弱さを生きる」

秋学期「死を生きる」	11	「死を生きる」とは何か －映画『ゼロ・グラビティ』を手掛かりとして－
	12	「二人称の死」と悲嘆の作業 －映画『ものすごくうるさくて、ありえないほど近い』を手掛かりとして－
	13	「三人称の死」という意味づけにおける暴力性について －映画『ホテル・ルワンダ』『少しの我慢』を手掛かりとして－
	14	子どもと死 －映画『テラビシア』にける橋』を手掛かりとして－
	15	教育と死 －大瀬敏昭『いのちの授業』を手掛かりとして－
	16	老いと死 －老いを生きることの人間学的意味を考える－
	17	葬儀と死 －映画『サウルの息子』『裸の島』『おくりびと』を手掛かりとして－
	18	宗教と死 －キリスト教の死の意味を中心として－
	19	ユーモアと死 －死への恐怖と不安を乗り越えるためのヒントとしてのユーモア－
	20	私の死を生きる －映画『エンディング・ノート』を手掛かりとして－

点字を知らう

オンライン講座

春学期・木曜2講時(10:45~12:15)

日本盲人社会福祉施設協議会認定点字指導員 今津 玲子

視覚障がい者によって使われる「点字」は、6点の組み合わせで表され、実は私たちの身の回りでもたくさん目にする機会があります。その点字が読めるようになってくると、今まで知らなかった視覚障がい者を取り巻く世界に気付ききっかけにもなります。

本講座では点字の読み方・書き方の基本を、実践を交えながらオンラインで学び、点字や視覚障がい者への理解を深めていただきたいと思います。

■募集人数

10名

■テキストなど

テキスト『初めての点訳 第3版』

(全国視覚障害者情報提供施設協会 編集・発行)

講座では点字器を使用します。

■必要な費用

テキスト代(770 円)のみ

■注意事項

携帯用点字器の貸出、テキストの配布(実費)を行いますので、講座初回開始時までにキリスト教文化センター事務室(今出川・京田辺)に受け取りに来てください。

点字器・テキストは、ご自身で準備していただいても結構です。



回	講座内容(受講者の人数、経験などによって、授業の内容や順序は変わることがあります。)	
春学期	1	視覚障がい者の状況、点字の読み方、身の回りの点字
	2	点字の書き方、語の書き表し方① 基本のかなづかい
	3	語の書き表し方② 間違いやすいかなづかい
	4	語の書き表し方③ 数字、文の書き方
	5	語の書き表し方④ 数字とアルファベット
	6	言葉を区切って書く① 分かち書きの基本
	7	言葉を区切って書く② 複合語と固有名詞
	8	分かち書きのポイント、記号類、まとめ

■受講のご案内

受講に際しては、講義概要および時間割を参照してください。

■開講期間

春学期 5月 8日(月)～ 7月28日(金)

秋学期 10月 2日(月)～12月22日(金)

■上記期間中に、1回につき90分の講義を行います。

■各プログラムは「通年」で開講されるので注意してください。

※学期単位で実施のプログラムを除く

2023年度オープン・プログラム暦

春学期

2023年

4月3日 (月) オープン・プログラム

受講登録受付開始

4月16日 (日) 受講登録受付終了

4月21日 (金) 受講可否結果発表

5月8日 (木) 春学期(講座)開始

7月17日 (月) 海の日(講座休講)

7月28日 (金) 春学期(講座)終了

※プログラムにより開講回数が異なりますので、講義終了時期など詳しいスケジュールについては、担当講師にご確認ください。

秋学期

8月下旬

～9月中旬

9月中～下旬頃

10月 2日 (月)

10月 9日 (月)

11月 3日 (金)

11月23日 (木)

11月26日 (日)

～11月29日 (水)

12月14日 (木)

12月18日 (月)

12月22日 (金)

秋学期募集について発表

(掲示板・ウェブサイト等)

秋学期追加登録受付開始/終了

秋学期(講座)開始

スポーツの日(講座休講)

文化の日(講座休講)

勤労感謝の日(講座休講)

創立記念行事週間

・創立記念日(講座休講)

パイプオルガン受講生発表会(今出川校地)

パイプオルガン受講生発表会(京田辺校地)

秋学期(講座)終了

■会場

京田辺校地：同志社京田辺会堂 光館(HIKARI-KAN) セミナー室、言館(KOTOBA-KAN) 礼拝堂

今出川校地：クラーク記念館内 集会室、クラーク・チャペル、同志社礼拝堂、授業教室

■対象

同志社大学在学学生・他大学在学学生および市民

■受講料

■無料。ただし、テキスト代などが必要なプログラムもあります。

■注意事項

■登録をしていないプログラムは受講できません。

■基本的に各プログラムは「通年」で開講されます。春学期に申し込んだ講座について、秋学期に再度申込手続きを行う必要はありません。※春学期のみ開講の講座は除く。

■欠席連絡の要・不要については、プログラムごとに記載の注意事項をご覧ください。

■受講を取りやめるときは、必ず、キリスト教文化センター事務室にご連絡ください。

■秋学期に追加募集を行うプログラムが出た場合、8月下旬～9月中旬に学内掲示板やキリスト教文化センターオリジナルウェブサイトにて、申込方法や募集定員など詳細をお知らせいたします。

■受講登録方法

<<同志社大学在学学生>>

- 申込方法 WEB での申込み ※事務室窓口では受付しません
- 受付期間・時間 4月3日(月)～4月16日(日)
- 注意事項
 - ・受講の可否は4月21日(金)にe-mailにて通知します。
 - ・受付は先着順ではありません。
 - ・希望者が定員を超えたプログラムについては、抽選を行います。

<<同志社大学在学学生以外>>

- 申込方法 WEB での申込み ※はがき等、郵送物では受付ません
- 受付期間・時間 4月3日(月)～4月16日(日)
- 注意事項
 - ・受講の可否は4月21日(金)にe-mailにて通知します。
 - ・受付は先着順ではありません。
 - ・希望者が定員を超えたプログラムについては、抽選を行います。

■個人情報に関する取り扱いについて

- 申込者の個人情報は、応募後の問い合わせや講座に関する各種連絡のために使用します。
- 利用目的以外の使用、第三者への提供はいたしません。

■交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う講座の実施について

交通機関が不通の場合および暴風警報・特別警報が発表された場合、講座の実施については、以下の措置をとります。

■交通機関の不通（原因の如何を問わず）の場合

- ・以下のいずれかに該当する交通機関の不通が発生した場合、発生時の次の講時からその日の講座の一部あるいは全部についてその実施を中止します。
- ・その後の講座の開始等措置は、以下の表のとおり、開通時刻により開始講時を決定します。
(早朝からの不通が6時30分までに開通した場合は、平常通り講座を実施します。)
- ・該当交通機関での事故等による一時的な運転見合わせの際には、平常通り講座を実施しますので、ご注意ください。

1. 対象となる交通機関

[今出川校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車(京都河原町～大阪梅田間)、京阪電車(出町柳～淀屋橋間)、近鉄電車(京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間)、JR(神戸～米原間)のうち、2以上の交通機関が同時に不通(全面または部分を問わず)の場合

[京田辺校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車(京都河原町～大阪梅田間)、京阪電車(出町柳～淀屋橋間)、近鉄電車(京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間)、JR(神戸～米原間、木津～京橋間)のうち、2以上の交通機関が同時に不通(全面または部分を問わず)の場合
- ハ. 近鉄電車(京都～大和西大寺間)が全面不通の場合

2. 交通機関開通時刻と講座開始講時

開通時刻	講座開始講時
6 時 30 分までに開通	通常どおり実施する。
6 時 31 分から 10 時 30 分までに開通	1、2 講時は実施しない。3 講時から実施する。
10 時 31 分以後に開通	講座は実施しない。

■暴風警報あるいは特別警報発表の場合

- ・以下の区域において、暴風警報あるいはなんらかの特別警報が発表された場合、発表時の次の講時からその日の講座の実施を中止します。
- ・ただし、発表された時点で、すでに実施中あるいは開始直前の講座については、警報の緊急性等を考慮の上で、キリスト教文化センターがその中止を判断します。
- ・特別警報が発表された場合、該当地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。警報発表地域にいる受講生は、各自、ただちに命を守る行動をとってください。特別警報の種類は問いません。ただし、特別警報発表時に大学構内にいる受講生は、大学の指示に従って行動してください。また自宅や大学に向かう途中の受講生で特別警報が発表された地域にいる場合は、自身の判断により、命を守るために最善と思われる行動をとってください。
- ・警報解除の後、危険が回避されたことが確認された場合には、以下の表のとおり、警報解除時刻により講座開始講時を決定します。それ以外の場合は、状況判断の上、別途指示します。
(早朝からの警報が 6 時 30 分までに解除となった場合は、平常通りの講座を実施します。)

1. 警報発表対象地域

- ・予報一次細分区域における 京都府南部、大阪府
- ・予報二次細分区域における 京都・亀岡、南丹・京丹波、山城中部、山城南部、大阪市、北大阪、東部大阪、南河内、泉州

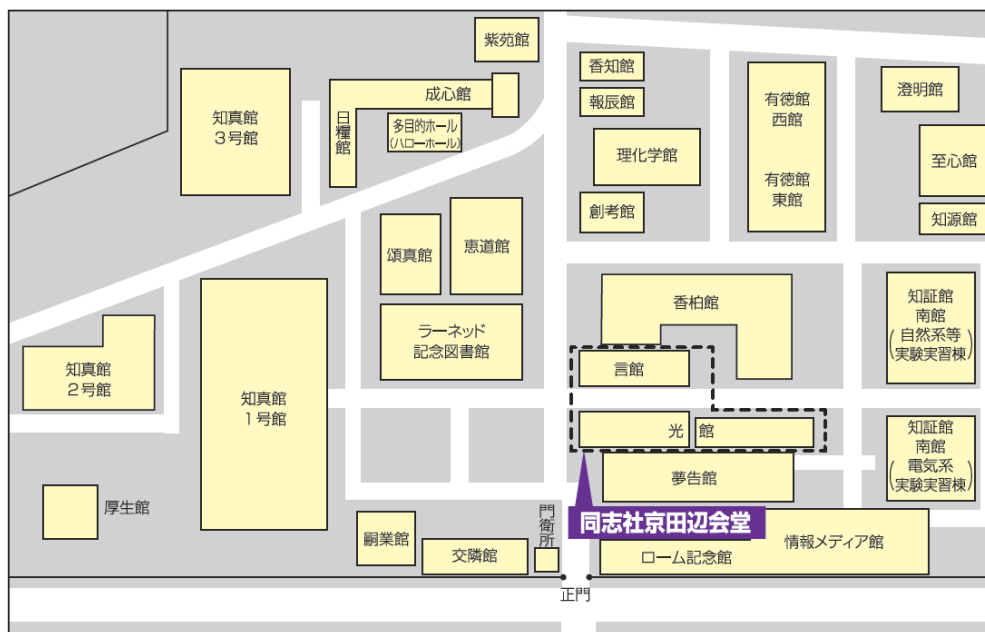
2. 警報解除時刻と講座開始講時

警報が解除される時間帯によって、以下のとおり講座を実施します。

警報解除時刻	講座開始講時
6 時 30 分までに解除	通常どおり実施する。
9 時 30 分までに解除	1、2 講時は実施しない。3 講時から実施する。
9 時 31 分時点で警報が発表中	講座は実施しない。

同志社大学キリスト教文化センター

京田辺校地



今出川校地



京田辺校地事務室

E-mail: jt-kirib@mail.doshisha.ac.jp

TEL 0774-65-7370

今出川校地事務室

E-mail: ji-kirib@mail.doshisha.ac.jp

TEL 075-251-3320

同志社大学 キリスト教文化センターホームページ

<https://www.christian-center.jp>

